

2013（平成25）年度 勿来発電所10号機（IGCC）の運転状況

2013（平成25）年度より、当社は株式会社クリーンコールパワー研究所を吸収合併し、同社より譲りうけたIGCC実証機を商用転用し、勿来発電所10号機として運転を継続することとしました。

勿来発電所10号機は、2013（平成25）年3月4日から開始した定期事業者検査を6月30日に終了し、同日17時より「営業運転」を開始しました。

■ 2013（平成25）年度の運転実績

2013年度 (平成25年度)	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
運転実績				発電運転 (6/28~12/8)						発電運転 (1/29~3/1)		
点検実績	定期事業者検査 (3/4~6/28)								中間点検 (12/8~1/29)			中間点検 (3/1~)

注)「発電運転」とは、ガスタービンでの石炭ガス専焼運転をいう。

■ 2013（平成25）年度のTOPICS

4月 IGCC実証機を勿来発電所10号機として商用機に転用

当社は、2013（平成25）年4月1日付で株式会社クリーンコールパワー研究所を吸収合併しました。

同社の石炭ガス化複合発電設備は勿来発電所10号機（IGCC・定格出力25万kW）として商用機に転用し、運転を継続することとなりました。

6月 勿来発電所10号機 営業運転開始

勿来発電所10号機は、2013（平成25）年3月4日から定期事業者検査で停止していましたが、同年6月30日17時に営業運転を開始しました。

11月 IGCC設備における世界最長連続運転記録を更新

勿来発電所10号機は、日本初のIGCC商用機として2013（平成25）年6月28日より石炭ガス化運転を開始し、その後順調に運転を続け、同年11月12日13時35分をもってIGCC設備における世界最長連続運転記録3,287時間（オランダ プナム発電所）を更新しました。

12月 IGCC設備における世界最長連続運転記録3,917時間を樹立

勿来発電所10号機は、2013（平成25）年6月28日より石炭ガス化運転をスタートさせ、同年12月8日20時に停止し、中間点検に入りました。

この間の連続運転時間は3,917時間であり、これまでオランダのプナム発電所が持っていた世界記録3,287時間を大幅に更新しました。